

経営会議の内容

件 名	第 8 次大和市総合計画・後期基本計画（案）について
所 管 部	政策部
日時・場所	平成 2 5 年 5 月 2 1 日（火） 1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 1 0 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、子ども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、教育部長、消防長、議会事務局長、総合政策課長
提出理由	第 8 次大和市総合計画・後期基本計画の策定に向けた市民意見交換会等の実施にあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標を実現するための個別目標の取り組み方針や、めざす成果における主な取り組みが、前期基本計画よりも細やかに記述されており、具体性を捉えやすい計画となっている印象を受けた。 ・本市の人口についてはどのように捉えているのか。 （所管部）国立社会保障・人口問題研究所のデータを参考に独自に推計した。計画の目標年次である平成 3 0 年度において、およそ 2 3 万人と予測している。この推計値は基本構想策定時と大きく変わらない。 ・策定にあたり、総合計画審議会においては、本市の財政状況と計画の方向性との整合性についての議論はなされたのか。 （所管部）審議会からは、施策の推進にあたっての財源確保について十分留意するよう意見をいただいた。毎年ローリングで策定する実施計画において、調整を図っていきたい。 ・バリアフリーに関する施策については、どの部分で触れているのか。 （所管部）基本目標 5 「快適な都市空間が整うまち」の中で、主な取り組みとして触れている。 ・個別目標「子どもの生きる力を育む」の取り組み方針として「誰もが不登校やいじめに対する問題意識を持つよう啓発を進め」とあるが、この「誰もが」には保護者や教職員はもとより、市職員も含まれるはずである。個々の意識の持ちようを高めると共に、職員間の連携を強めることが大事である。 ・市民意見交換会はどのように実施するのか。計画のボリュームが大きいので、市民が理解し、意見をいただくためには見せ方を工夫し、わかりやすく丁寧に説明しなければならない。 （所管部）会場に原案をわかりやすく要約した大型パネルを貼り出し、職員がマンツーマンで対応する。意見をいただき、計画に足りない部分や見直すべき箇所があれば修正を検討する。たくさんの方々に参加していただくためにホームページや広報等を活用し広く周知を図る。
会議結果	案のとおり、進めていく。